



滋賀県青少年赤十字指導者協議会
日本赤十字社滋賀県支部

JRCLしが

junior red cross

滋賀県青少年赤十字加盟校(園)(令和3年度)

校種	加盟校(園)数
保育園・幼稚園	10
小学校	150
中学校	42
義務教育学校	2
高等学校	16
特別支援学校	1
計	221

健康・安全 奉仕 国際理解・親善

CONTENTS

- 滋賀県青少年赤十字研究推進委嘱校の取り組み
- 青少年赤十字は今年、創設100周年を迎えます
- 青少年赤十字スタディー・プログラム
- 事業計画、編集後記

研究
主題

主体的に学び、 対話的に考えを深め合える子どもの育成

～児童の言語感覚を養い、「読み解く力」を高める指導の在り方～

令和2・3年度 第44回滋賀県青少年赤十字研究推進委嘱校
甲賀市立甲南第三小学校



本校の特色である『愛鳥活動』と『青少年赤十字加盟校』の両方が今年で五十年という節目の年となりました。二か年に渡りJRC研究委嘱校として、児童の『主体的』な姿勢と『対話的』な学びの育成について研究を行ってまいりました。

昨年度から『主に他者とのやりとりから読み解き理解する力』について重点を置き、少人数ならではの対話的な学びの実現にむけて研究を進め、国語科で身に付けた力が他教科や教育活動全般に汎用できることを目指しました。また、全教科・教育活動全般を通して「ことば」に対する資質・能力の向上を目指し、児童自らが主体的に最後まで粘り強くや

り通そうとするような指導者の「しかけ」づくりについても研究を進めました。

新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、十一月十九日には、予定通り研究発表会を開催することができましたことは、大きな喜びです。児童発表後、カリキュラムマネジメントの視点を踏まえ、JRCの実践目標の一つである「健康安全」の中から特に「防災」に関する内容と、国語科で身に付けた力を汎用させられるように教科横断的な学習の公開授業を参観いただきました。その後、県指導主事 川端様から、指導講話をいただきました。県内より

多数ご参加いただき、深く感謝いたします。研究発表会の開催にあたり、日本赤十字社滋賀県支部の皆さまをはじめ、関係機関の皆さまからご指導・ご支援いただきましたこと心から感謝申し上げます。

本校の子どもたちは、「宮の宝」として地域で温かく大切に育てていただいています。自然を大切に、友だちを大切に、さまざまないのちを大切に心がすでに培われています。そんな自分のふるさとに誇りをもち、未来をたくましく切り拓いていくための素地となる「気づき、考え、実行する」実践をこれからも積み重ねてまいります。

青少年赤十字は今年、創設100周年を迎えます！



児童・生徒が、日常生活の中でのちと健康を大切に、地域社会、国家・世界のために奉仕し、世界の人々との友好親善の精神を育成する青少年赤十字。その誕生は1922年にさかのぼります。きっかけは、第一次世界大戦時のカナダ、アメリカ、オーストラリア、イタリアの児童・生徒が行った救護材料の製作補助などの赤十字事業支援活動です。

日本では、本県の守山小学校が、全国に先駆けて青少年赤十字団を結成し、赤十字の人道・博愛の精神でボランティア活動を実践する活動の輪が全国に広がったと言われています。1922年に誕生した青少年赤十字は今年で100周年を迎えます。創設から100年を迎えた現在では全国で約14,500校が青少年赤十字に加盟し、340万人以上の青少年赤十字メンバーがいます。

今号では、これまでの青少年赤十字活動のあゆみを振り返ります。



【滋賀県のJRCの動き】

<p>▶1914(大正3)年～</p> <p>第一次世界大戦をきっかけにカナダやアメリカ、オーストラリア、イタリアで青少年赤十字が結成される</p>	<p>▶1922(大正11)年</p> <p>滋賀県守山市立守山小学校(当時、野州郡守山尋常高等小学校)で国内初の少年赤十字団を結成</p>	<p>▶1946(昭和10)年</p> <p>県内すべての小学校が少年赤十字に加盟</p>	<p>▶1960(昭和35)年</p> <p>チリで発生した津波災害に対し、青少年赤十字が支援物資を送る</p>	<p>▶1980(昭和55)年</p> <p>滋賀県青少年赤十字賛助会を設立。全国賛助会に加盟(後に滋賀県青少年赤十字賛助奉仕団に改称)</p>	<p>▶2004(平成16)年</p> <p>JR守山駅西口広場に青少年赤十字賛助奉仕団湖南ブロックにより「少年赤十字発祥の地」と刻まれた顕彰碑が建立される</p>
<p>▶1920(大正9)年</p> <p>第1回赤十字社連盟総会で事業の方向性を示す決議が採択</p>	<p>▶1923(大正12)年</p> <p>関東大震災を受け、少年赤十字団が義援金や慰問品を本社を通じて送る</p>	<p>▶1949(昭和24)年</p> <p>「滋賀県青少年赤十字協議会」が設置(後に補導者協議会から指導者協議会に改称)</p>	<p>▶1960(昭和35)年</p> <p>津市雄琴小学校で青少年赤十字の第1回トレーニング・センター(2泊3日)を開催。参加者140名</p>	<p>▶1977(昭和52)年</p> <p>第1回青少年赤十字研究推進委嘱校研究発表会を栗東町立治田西小学校で開催</p>	<p>▶1994(平成6)年</p> <p>青少年赤十字加盟校の連帯と活動促進を目指して、機関紙「JRCしが」を創刊</p>
<p>▶1922(大正11)年</p> <p>地域連合としての日本最初の青少年赤十字団が伊香郡12か町村の小中学校児童1,900余名で組織</p>	<p>▶1923(大正12)年</p> <p>野洲郡連合少年赤十字団よりイギリス、フランス、スイス、アメリカの各少年赤十字との通信交換がはじまる</p>	<p>▶1950(昭和25)年</p> <p>大津市雄琴小学校で青少年赤十字の第1回トレーニング・センター(2泊3日)を開催。参加者140名</p>	<p>▶1960(昭和35)年</p> <p>チリで発生した津波災害に対し、青少年赤十字が支援物資を送る</p>	<p>▶1977(昭和52)年</p> <p>第1回青少年赤十字研究推進委嘱校研究発表会を栗東町立治田西小学校で開催</p>	<p>▶1994(平成6)年</p> <p>青少年赤十字加盟校の連帯と活動促進を目指して、機関紙「JRCしが」を創刊</p>
					<p>▶2011(平成23)年</p> <p>東日本大震災で加盟校が義援金の募金活動に取り組む</p>
					<p>▶2014(平成26)年</p> <p>青少年赤十字メンバー・加盟校応援プロジェクト事業開始</p>
					<p>▶2022(令和4)年</p> <p>青少年赤十字創設100周年</p>

折しも、記念すべきJRC創設100周年の年に、新型コロナウイルス感染症という難敵が子どもたちを襲っています。学校の閉鎖、学校行事の縮小、子ども同士の触れ合い活動の禁止など、この感染症は子どもだけでなく、心も蝕み続けていま

ちよつと100年前の1922年(大正11)5月5日に、現守山小学校の前身である守山尋常高等小学校にて、わが国最初の少年赤十字が創設されました。次いで、6月には当時の伊香郡でも少年赤十字団が組織されていることから、現在の青少年赤十字(JRC)の発祥の地は守山といふより、滋賀県といった方が良さそうです。それだけに、ここ滋賀県は全国的にJRC活動で注目される地であり、活動の先端地でなければならぬ責任があるように思えます。



滋賀県青少年赤十字指導者協議会会長
守山市立守山小学校長 田中滋規

JRC創設100周年を迎えて
「気づき・考え・実行する」
子どもをめざして

す。また、大人の社会でも、窮屈な生活に疲れたストレスの増大からと思われる身勝手な理屈による悲惨な事件が多く起こっています。感染症を引き起こしているのは、「ウイルス」であり、決して「人間」ではないのですが、二次的な災害が起こりつつあるように思えてなりません。今こそ、「人間を救うのは人間だ」という赤十字の精神をもって、力を合わせてコロナ禍に対する時です。県内の各校で実践されたコロナ対策をコンテストとして募集したところ、正に子どもや先生方が、JRCの態度目標である「気づき・考え・実行する」をコロナ対策として教育活動の中で位置づけて実践されている様子がうかがえました。100周年の記念すべき年が、コロナ終息の年となるよう願いながら、子どもも大人も「気づき・考え・実行」して、数々の困難を乗り越えていきたいと思います。

す。また、大人の社会でも、窮屈な生活に疲れたストレスの増大からと思われる身勝手な理屈による悲惨な事件が多く起こっています。感染症を引き起こしているのは、「ウイルス」であり、決して「人間」ではないのですが、二次的な災害が起こりつつあるように思えてなりません。今こそ、「人間を救うのは人間だ」という赤十字の精神をもって、力を合わせてコロナ禍に対する時です。県内の各校で実践されたコロナ対策をコンテストとして募集したところ、正に子どもや先生方が、JRCの態度目標である「気づき・考え・実行する」をコロナ対策として教育活動の中で位置づけて実践されている様子がうかがえました。100周年の記念すべき年が、コロナ終息の年となるよう願いながら、子どもも大人も「気づき・考え・実行」して、数々の困難を乗り越えていきたいと思います。



創立100周年記念事業のお知らせ

- ▶1 青少年赤十字創設100周年記念大会の開催

 - 開催日時 令和4年7月29日(金)
 - 会場 守山市民ホール

100年の歴史を振り返るとともに、これからのJRC活動の一層の充実を図る機会にしたいと考えます。当日は、児童や教員の活動報告や魅力ある講師による講演を予定しています。
- ▶2 活動実践事例集の発行

県内で展開されている青少年赤十字活動の中で、学校教育に取り入れられている事例を紹介し、JRC活動のさらなる普及と先生方の指導実践の一助となる事例集の発行を予定しています。
- ▶3 研究推進委嘱校による研究発表大会

 - 開催日時 令和4年11月1日(火)
 - 会場 守山市立守山小学校

青少年赤十字の発祥校である守山小学校で研究発表会を開催します。創設以来培われてきた青少年赤十字活動についてご発表いただきます。

青少年赤十字創設100周年記念大会及び研究発表会につきましては、詳細が決まり次第各学校へご案内いたします。

皆さんの活動をサポートします!!

青少年赤十字メンバー・加盟校 応援プロジェクト

日本赤十字社滋賀県支部では、青少年赤十字加盟校が行う自主的かつ意欲的な教育の実践活動の支援を目的に本事業を行っております。

例えばこんな活動に……

- 防災学習を実施する際に必要な物品を整備したい!
- 海外の学校とオンラインで交流を図り、相互理解を深めるために機材を準備したい!

基準により上限5万円を助成します。申請方法はとっても簡単! 詳しくは日本赤十字社滋賀県支部のホームページをご確認ください。

お問い合わせ

日本赤十字社滋賀県支部
TEL 077-522-6758
URL <https://www.jrc.or.jp/chapter/shiga>

令和3年度青少年赤十字スタディー・プログラムに参加

令和3年12月25日(土)、26日(日)の2日間、青少年赤十字に加盟している全国の中学高校で活動している生徒が交流し学ぶ、スタディー・プログラムに滋賀県代表として、滋賀県立八幡高等学校社会福祉部が参加しました。オンライン開催となりましたが、全国の中学高校生308名と意見交換をしました。令和4年度は青少年赤十字創設100周年を迎える年であり、100周年事業をともに創りあげる活動への理解を深めました。



各自の学校で行っている活動の報告をしたり、赤十字の理念を学んだり、SDGsの企業の取り組みを学んだり、たくさん学びがありました。

その中でも一番の学びは、赤十字の理念の一つ、「中立」です。戦時に敵味方の区別なく救護を行う組織だということをお話を伺いました。これは戦争が身近にはない日本でも、災害現場等で通じるものがあります。地方に限らず、全国、全世界で連携をしていく時に「中立」の立場をとる考え方は重要な事だと思いました。これからの活動で、より一層意識して取り組みたいと思います。

全国の参加者と交流し、校内の活動しか見えていませんでしたが、視野が広がりとでも良い機会になりました。次は直接会って協議したいです。



2年 四方 果穂



2年 木村 心瑚

ズームを使用して全国の中・高生と交流し、青少年赤十字の活動や人道や防災について理解を深めました。このプログラムを通して、私が特に考えたことがあります。

それは赤十字社の重要性です。赤十字社は、自分を含めたお互いのために役立つという心と実践力を持った人達の組織であり、お互いを尊重し助け合う社会を形成していく上でとても重要になっていると思います。

私は社会福祉部の活動のなかで、あまり青少年赤十字について詳しく知らなかったのですが、このプログラムを通して、新しい知識や考えを身につけることができました。

また、全国の中・高生と交流したことで、相手の意見を尊重して、さらに自分の意見を主張することの大切さを学ぶことができました。

今回学んだことを、今後の活動に生かしていきたいと思っています。

編集後記

JRCしが第28号を発行しましたので、お届けします。

今年は、1922(大正11)年に全国初となる青少年赤十字が守山小学校で誕生して100周年の記念すべき年となります。100周年イヤーとなる今年は、発祥地である滋賀県だけではなく全国で様々な活動が予定されています。

第一次世界大戦時の赤十字事業支援活動をきっかけに始まった青少年赤十字の活動ですが、長い歴史の間、赤十字の理解を通して、青少年の「やさしさ」や「おもしろい」を大切にすることを育むことを目的に活動を続けてきました。

コロナ禍で、人々が自宅に閉じこもりがちになり、人との交流が少なくなっている今こそ、もう一度、「やさしさ」「おもしろい」の心を育てる青少年赤十字活動について振り返り、この100年から新たな青少年赤十字の歴史をつくっていく機会にしたいと思います。

令和4年度青少年赤十字主要事業計画(案)

月	日	行 事	実 施 場 所	期 間	参 加 者
4		全国支部青少年赤十字担当者会議		1	支部事務局担当者
5	5	青少年赤十字創設100周年 オープニングイベント	Web	1	青少年赤十字関係者
		指導部役員会	日赤滋賀県支部会議室	1	会長、副会長、顧問、都市支部長、指導部長
6	2	第1回滋賀県青少年赤十字 高校生連絡協議会	県内加盟高校	1	高校生メンバー、指導者
	中旬	都市支部長会	日赤滋賀県支部会議室	1	会長、副会長、都市支部長、指導部長
	29	全国指導者協議会総会・研修会	日赤本社	1	会長
7	中旬	トレーニングセンター打ち合わせ会	日赤滋賀県支部会議室	1	会長、指導部長、県指導員
	29	青少年赤十字創設100周年記念 滋賀県青少年赤十字大会 (近畿ブロック指導者研修会を兼ねる)	守山市民ホール	1	青少年赤十字関係者
7-8		都市主催トレーニングセンター	各市支部	1	各支部メンバー
8	5	リーダーシップ・トレーニングセンター	守山市立守山小学校	1	小・中・高メンバー
		都市主催総会・運動会	各会場	1	各都市メンバー
10	27	第2回滋賀県青少年赤十字 高校生連絡協議会	県内加盟高校	1	高校生メンバー
10-11		青少年赤十字創設100周年記念 国際交流事業	東京都内	3	高校生メンバー、県内指導者
11	1	青少年赤十字研究推進委嘱校発表大会	守山市立守山小学校	1	県内指導者
12	下旬	指導部役員会	日赤滋賀県支部会議室	1	会長、副会長、顧問、指導部長、県指導員
3	上旬	都市支部長会	日赤滋賀県支部会議室	1	会長、副会長、都市支部長、指導部長
	下旬	青少年赤十字スタディー・センター	山梨県・東照館	5	高校生メンバー

通年事業：青少年赤十字メンバー・加盟校応援プロジェクト事業を実施